



西東京市立保谷中学校
学校便り 7号
令和7年10月31日(金)

校長 市来原 真茂

行事の多かった10月。合唱コンクール、3年生は京都・大阪万博への修学旅行、2年生は職場体験、1年生は川越での校外学習と、それぞれの学年が貴重な体験を積むことができました。

修学旅行では、歴史と伝統の町・京都を巡り、長い年月をかけて受け継がれてきた文化の重みを感じたことでしょう。また、大阪万博では「最先端の技術・いのち」にふれ、これから時代を生きる自分たちの役割について考えるきっかけにもなったと思います。また、仲間と過ごす時間の中で「思いやり」「責任」「協力」の大切さを改めて感じ、お互いに声をかけ合い、支え合うことで、人と関わる力が育ちました。

職場体験では、働く人の姿から社会の仕組みや厳しさを知り、「仕事とは何か」を考えるきっかけになったと思います。初めて出会う大人の方々との関わりの中で、挨拶や言葉遣い、態度の大切さを実感したのではないでしょうか。自分の得意なこと、苦手なこと、やりがいを感じた瞬間、それらは、進路や将来を考える上で大切なヒントになります。

校外学習では、川越の町並みを歩きながら、地域の方々の協力を得て、事前学習では味わえない本物の学びを経験しました。また、人との関わりの中で、歴史や文化を支える多くの人の努力に気づけたことも、大きな収穫だったと思います。

どの学年の行事にも共通していたのは、「体験を通して自分を見つめること」でした。そしてそれは、人との関わりの中でこそ深まる学びでもあります。大切なのは、行事が終わった今です。体験して感じたことを、「自分ごと」として考え、次にどう行動するかが、真の成長につながります。

上手くいったことも、反省したこと、誰かと関わりながら得た経験の全てが「自分を成長させる材料」です。

この10月の貴重な経験を踏まえ、自分の中に生まれた気づきや思いを大切にし、次の一步を踏み出していってほしいです。

合唱コンクール(担当:合唱コンクール実行委員)

10月1日(水)、練馬文化センターで合唱コンクールを行いました。昨年度に引き続き、2回目のホール開催となる今回のスローガンは、「熱唱残響」。聴く人の心に残る熱い合唱を届けよう!と、1学期から実行委員が動き出し、一生懸命に準備を進めてきました。昨年よりも1か月早いスケジュールで、リハーサルも練習期間も前倒して行ってきたため、かなり忙しい中ではありましたが、実行委員を中心指揮者、伴奏者、パートリーダーが協力し合い、練習の段階から熱量のある合唱にすることができました。

1年生・のびる学級課題曲「大切なものの」では、初々しくも元気なハーモニーをホールに響かせてくれました。のびる学級による「青い鳥」は、真剣に合唱をするということに深く向き合った、魂の震える演奏でした。1年生は初めての合唱コンクール。今自分たちにできる精一杯を歌おうとする、まっすぐな歌声が直接心に響きました。2年生の学年合唱「時の旅人」は、曲の場面ごとに雰囲気を変え、表情豊かに歌い上げました。選択曲もそれぞれのクラスの個性を生かしていく中、ただ歌うだけではなく、どこまで表現を工夫できるか考え抜いた合唱を届けてくれました。そして、3年生の課題曲「虹」では、大人と子どもの中間でもある中学生にしかできない、歌詞に自身の心が投影されたような、感情的な演奏でした。練習を重ねたソロも素敵でした。どのクラスも選択曲のクオリティが非常に高く、これまでの中学校生活が凝縮されたような圧巻の演奏で、審査員の方々が頭を悩ませるほど、みごとに完成されたものでした。

当日、ここまで良い形で合唱コンクールを開催することができたのは、実行委員を先頭に学校が一体となって1つの行事に向かっていくことができたからだと思います。

「保谷中学校の合唱はすごい」という伝統がこの先も続き、さらに良いものになっていってほしいと願っています。保護者の皆様、地域の皆様、準備や当日のご協力ありがとうございました。

1年生



のびる学級



2年生



3年生



修学旅行 「温故知新～可愛い子には旅をさせよ～」 (担当:第3学年)



「温故知新～可愛い子には旅をさせよ～」のスローガンのもと、10月9日(木)～11日(土)の2泊3日で修学旅行を実施しました。1年生の時は、箱根・鎌倉宿泊学習を実施し、今回はそれ以来の2度目の宿泊行事でした。初日は京都で半日の班別行動。千年以上の歴史をもつ京都の寺社や町なみなどに触れ、各班が協力をして行動することができました。2日目は大阪万博に行きました。閉幕間際ということもあり、多くの来場者で混雑していましたが、生徒たちは最先端の技術を肌で実感し、近未来の世界を感じることができました。

3日目は、京都で班別のタクシー行動でした。土曜日ということもあり、京都市内の各所はどこも人が多く、予定していた行動を変更せざるを得ない班がほとんどでしたが、その中で古都京都の魅力を体感することができました。今回の修学旅行は例年とは少し違い、大阪万博や夜のBBQなど新たな取り組みもたくさんありました。当日の予測不能なトラブルなどにも各班が臨機応変に対応し、これまでの校外学習で積みあげてきた経験をしっかりといかすことができ、3日間の行程を無事に終えることができました。これからは事後学習にのぞみます。京都で「過去」の日本について学び、大阪万博で「現在」「未来」の日本や世界について学びました。これらをふまえて、これから私たちにできることや求められていることを各班でスライドにまとめ、発表する予定です。事後学習を終えるまでが修学旅行です。修学旅行の成功に向けて最後まで取り組んでいきます。今回の修学旅行を通して、学年が1つにまとまることができました。このまま3学年が受験、そして3月の卒業に向けて一人一人自分の歩みを進め、学年としてさらに成長してほしいと願っています。



修学旅行 「気配り・目配り・心配り」 (担当:のびる学級 3学年)



10月9日(木)～11日(土)の2泊3日で修学旅行を実施しました。1年生から3年生までに千葉・神奈川・山梨と3回の宿泊学習を実施し、今回は4回目の集大成となる宿泊学習でした。初日は京都へ。金閣寺と嵐山へ訪れて班別行動を行いました。天龍寺の曹源池庭園をゆっくり眺めて趣に浸ったり、竹林の道で神秘的な風景とその中で感じる静寂さや独特の雰囲気を味わったりしました。嵐山駅周辺では食べ歩きをし、幸せそうに味わっているみんなの表情が印象的でした。2日目は大阪万博で班行動。終了間際ということもありもの凄い来場者数でした。やむを得ず、予定していた行程とは大幅に変更になりましたが、自分達で計画を練りなおす姿は立派で成長を感じました。国内外の伝統や文化、そして未来に触れることで理解を深めることができました。3日目は京都市内の伏見稻荷大社と清水寺へ行きました。伏見稻荷大社の朱塗りの鳥居がトンネルのように続く千本鳥居を通り、願い事を占う「おもかる石」を持ち上げる体験をしました。清水寺では清水の舞台からの眺めを存分に楽しみ、歴史に触れるることができました。

この修学旅行の目的である①日本の伝統や文化への理解を深める。②国際理解を深める。③3年間学んできたことを実践することに対して3年生がこれまで培ってきた力を存分に発揮し、見事に達成することができました。また、友達を気づかうこと、周りをみて行動すること、楽しむときと真面目に過ごすときのメリハリをつけることがしっかりとできていました。まさに「気配り・目配り・心配り」ができる立派な3年生になったと感じました。全員が最高の思い出として終われたことがその結果なのではないかと思います。3年生が1つにまとまり、受験も控えた中、3月の卒業へ向けて一日一日が進んでいきます。最後まで成長し続けられる集団であることを願っています。



11月の予定

- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| 4日（火）三者面談終（3） | 19日（水）職員会議 |
| 5日（水）中教研教科部会 3時間授業（給食あり） | 20日（木）中央委員会 |
| 7日（金）避難訓練 | 21日（金）地域清掃（1N）読書月間始
受験写真撮影（3） |
| 卒アルクラス写真、学年写真（3） | 24日（月）振替休日 |
| 10日（月）全校朝礼、安全指導、ふれあい開放 | 25日（火）生徒会朝礼 |
| 12日（水）期末考查（美、保、社）給食なし | 26日（水）側弯検診 |
| 13日（木）期末考查（技家、理、英）給食なし | 28日（金）三者面談始（全） |
| 14日（金）期末考查（音（1・3）、数、国） | |
| 17日（月）給食なし（お弁当） | |
| 18日（火）専門委員会 | |

